



大田区パソコン同好会 の前々会長伊山さんに インタビューさせてい ただきもう一度 OPC

の理解を深めたいと思います。

OPC クリックの第13号が2010年に発行されそのなかに巻頭言で当時の伊山会長が「原点にたちかえろう」と謳われています。今回はクリック編集委員が全員入れ替わり世代の交代を感じられるかも知れませんがこの同好会の原点というものをもう一度見直してみたいと考えています。

現在は名誉会長という立場で OPC を支えておられる伊山さんにお話をうかがいました。

——同好会発起の動機を伺いたと思います。

伊山： 身の諸々の「DATA BASE」を整理するにはパソコンが一番と考えました。リタイヤしてからも、パソコン操作上の問題は、ずるずると元会社の後輩に教えてもらったりしていましたが、それではいけないと気付きました。それで大田区内だけでも同様な問題を抱えた人たちが居るだろうと考えて呼びかける事にしました。自分より詳しい人を期待しました。

——実用的な動機があったのですね。当時の OPC という同好会の理念についてお願いします。

伊山： 上述のように打算からの出発でしたが、当初20数名の皆さんがとても積極的で「社会貢献出来る会」であるべきとは、私は考えていませんでした。全員の盛り上がりで出来た理念です。幸運だ

ったのは、私の欲する「ベテラン」の方々と、パソコンはずぶの素人でも「ある目的をもって意欲がある人」との均衡のとれた集合体が出来上がった事です。区報で声をかける前に、3ヶ月位かけて「趣意書」なるものを作りました。応募された方々に配布して賛同していただいた事も貢献していると思います。発足当時は理念については考えも及びませんでした。ただパソコンを使いたいという期待がほんとうに大きかったのです。

——会の活動はどの様に変化したのでしょうか。例えば電子メールの普及とメディアの変化等は活動にどの様に影響を与えたのでしょうか。

伊山： 発足当時、メールの出来る人は、約3割位でした。ノート型パソコン所有者は1割位だったと思います。従って情報伝達はFAXと手紙でした。色々の勉強会は、パソコンを所有する方のお宅にご厄介になりました。夢中でだれもが新しい機能を追求して、結果的に大いに楽しむことができたという事になります。

——メールやホームページの普及は社会に大変革をもたらしたと思いますが会長の立場でどの様に活用されてきましたか。

伊山： 特に画期的な転換点は記憶にありません。ホームページは個人のものには自己満足の域を出ません。OPCのそれは、ご担当の皆さん（特に藤田さん）のお陰で非常に役立っていると思います。今では通信の主役はメールとなり重宝する機能だと思います。会員としては、例会でメールやホームページを学び個人でも活用するという大きな変革がありました。

——劇的な変化を遂げてきたパソコンをあつかう OPC の維持・発展は順調な

10年余でしたか。

伊山：前半は学びながらも討論になったりしましたがお互いにより仲間ができた喜びあいました。会員も自然に増えて行きました。が、正直言って、後半は私の采配の拙劣さもあって残念ながら満足とは言い切れません。

——同好会は大田区をよく認知する組織に発展してきました。社会貢献にどう取り組んでこられたのでしょうか。

伊山：意図に反して、人材不足と、本来の趣旨を忘れた面々とが交錯してまだに合格点は得られていません。これは今後の OPC に期待しています。

——今後の OPC に最も期待されることを一言お願いします。

伊山：だれも他の趣味がありますが、自己中心的発想から脱却して、会に対する前向きな発想と提案を期待します。

——時間と労力など費やした会長職を奥様は理解され協力を惜しむことはなかったのでしょうか。

伊山：ほんとうに忙しく活動しましたが妻は常に職務を理解し協力的でした。

——奥様にここでお礼申し上げます。最後に、OPC の活動でもっとも楽しかった思い出をひとつ聞かせて下さい。

伊山：故浅川さん宅での「クリック編集」の際、仲間同士が本気で喧嘩して仲良くなった事。仲間がたくさんできた事です。

——お忙しいところ有り難う御座いました。

聞き手：藤本

インタビュー後記 1

思いだすのは伊山さんと出会ったころの事。伊山さんが会長時代前半を終えてこれからどの様に会を運営し発展させようか模索中であった。いま思い起こせば、仲間として研さんを積んできた方々の中に会についての意見が分かれて来つつあった頃と符合する。17ページ「大田区パソコン同好会に入会した頃」に私の思い出を少し記述したが、最初はデジカメに興味をもっていた。しかし写真の加工に意味を見いだせずOPCとは疎遠になっていた。それでも会で大活躍をされていた方々が続いて脱会されるのを見聞していた。伊山さんがインタビューで会長在任中の後半を悔んでおられるのは、その後の同好会に活気を取り戻す事が出来なかった事と知りました。また活力を取り戻したいものです。



インタビュー後記 2

指導力のある伊山さんが率いてこられた大田区パソコン同好会を新会長のもと益々発展させていくために、会員だれもがそれぞれの目標を持ちたいものです。十人十色の人格をまとめて、楽しく有意義な同好会を目指したいと思いました。パソコンに限らずいろいろ趣味をお持ちの方は忙しくなかなか OPC だけに貢献することも難しい状況です。別な趣味とパソコンをどう結びつけるのか来期は考えてみませんか。